

式辞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大規模イベントの開催自粛や全国の小・中・高校一斉の臨時休業の要請などがあり開催が危ぶまれた令和の時代最初の卒業証書授与式を本日、PTA会長 山城伸一 様をはじめ御来賓の皆様の御臨席を賜り挙行できますことに厚く御礼申し上げます。

また、保護者の皆様には、今、入学時とは見違えるばかりに心も体も立派に成長し、自らの進路に向かって力強くその一步を踏み出そうとしているお子様の高等学校卒業の晴れ姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと拝察いたします。これまでに本校にいただきました、御支援、御協力に対しまして、改めまして感謝申し上げます。

さて百四十四名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。
皆さんの脳裏には今、米子南高校での三年間の様々な場面が走馬灯のように駆け巡っていることと思います。それら一つ一つの体験や人とのつながりは皆さんを大きく成長させました。そしてそれらは、皆さん一人一人にとってかけがえのない財産であり、また、これからの長い人生の礎になるものです。

皆さんは本校で、地域社会に貢献できる専門的職業人として必要となる知識や技能を身に付けるため、普通教科・科目のみならず、数多くの商業・家庭の専門科目を学び、それらの学習成果を基に三年次に「課題研究」に取り組みました。この「課題研究」では、グループの仲間と意見をぶつけ合いながら課題（テーマ）を設定し、それを解決（アプローチ）する方策を考え、実行してきました。その過程でたくさんの人から様々な助言や示唆をもらい、試行錯誤を繰り返したことと思います。今年一年「課題研究」取り組んだある生徒は、『この一年間を通して、自分で考え、行動する力を身に付けることができたと感じています。このような力は大学生活や社会に出てからもとても重要だと思います。実践的な活動を続けてきたことにより、知識や技術だけでなく、少なからず自信も身に付いたと感じています。』と感想を述べています。この感想の通り、一月末に開催された「米南みつばち学習発表会」での各科・コースの代表グループの発表では、本校の目指す能力・態度を十分に身に付けた姿に成長を強く感じました。また、その研究内容や態度は、一・二年生に本校での学びの目標を示してくれたものと感謝します。

さて、皆さんは幼い頃から幾度となく周囲の大人に「将来の夢は？」と聞かれ、「しっかりとした夢を持たないとだめだよ」と言われてきたと思います。そして、その期待に応えてきたと思います。昨年ブレイクし、NHK紅白歌合戦に出場したOfficial髭男dismの「未完成なままで」という曲にこんな歌詞があります。

『子どもの頃解けなかった問題をまだ解けずにいる
向き合うことすら出来ない「将来の夢 500字以内で」
友達の描く未来は数式のようにクリアで焦った
「それに比べ自分は……」と何度も回答用紙を睨んだ
未完成なままで書き殴るいびつなメッセージ

採点なんて頼んでもない 誰にも評価なんて出来ない
いつだって時間に急かされる理想のメッセージ
ボロボロになった回答用紙を見返して
光溢れた未来へ』

確かに未来のことを明確に思い描くことは困難です。しかし、自分の将来だからこそ、人任せにするのではなく自分の頭で真剣に考えることが必要です。自分で考えたことだからこそ、実現に向けた行動に覚悟が持てると同時に、その善し悪しを人に判断して欲しくないという思いが生まれるのです。自らの将来を考えるに当たり重要なことは、解答までの早さではなくその中身であり、そして、何よりも重要なことは、考える過程なのです。

卒業はゴールではなく、新たなステージへのスタートです。激しく変化し、予測困難な社会に一步を踏み出していく皆さんには、人との出会いを大切にし、未知なるものへの挑戦を楽しみ、自分を支えてくれる人の存在に感謝し、人と比べることなく昨日の自分より少し成長することを座右の銘として、自ら目標とする生き方に向かって力強く、そして一歩ずつ着実に歩みを進めていってくださることを期待します。

今年の卒業式は在校生が代表しか列席しないという少し寂しい式となりましたが、何年か後に「自分たちの卒業式は例年とは違う特別な卒業式だったんだ」と良い思い出として振り返られるような心の余裕と幅広さを兼ね備えた人間味溢れる大人に成長して欲しいと思います。

卒業生の皆さんの前途が洋々たるものとなり、幸多からんことを祈念して、式辞といたします。

令和二年三月二日

鳥取県立米子南高等学校
校長 永野 智之